

## 子育て支援施策に係る統計資料について

---

---

城陽市の子育て支援施策に係る統計資料について .....	1
1. 少子化の動向 .....	1
(1) 人口の動向 .....	1
(2) 出生の動向 .....	2
2. 家族や地域の状況 .....	3
(1) 世帯の動向 .....	3
(2) 就労の動向 .....	4
3. 子育て支援サービスの提供と利用の動向 .....	6
(1) 子育て支援サービスの状況 .....	6
(2) 母子保健の状況 .....	15

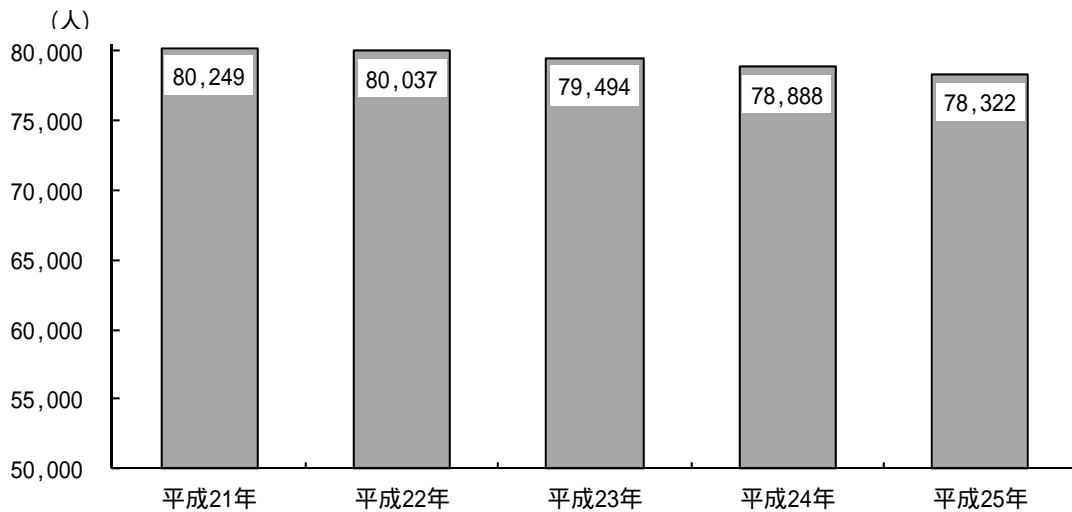
# 1. 少子化の動向

## (1) 人口の動向

本市の総人口は年々減少を続けており、平成25年には平成21年の80,249人から1,927人減少し78,322人となっています。

年齢3区分別の構成比の推移をみると、年少人口(0～14歳)比率は平成22年以降12.6%で推移しています。また生産年齢人口(15～64歳)比率が年々減少を続けている一方で、老年人口(65歳以上)比率は年々増加を続けており、本市においても人口減少と少子高齢化が進展しています。

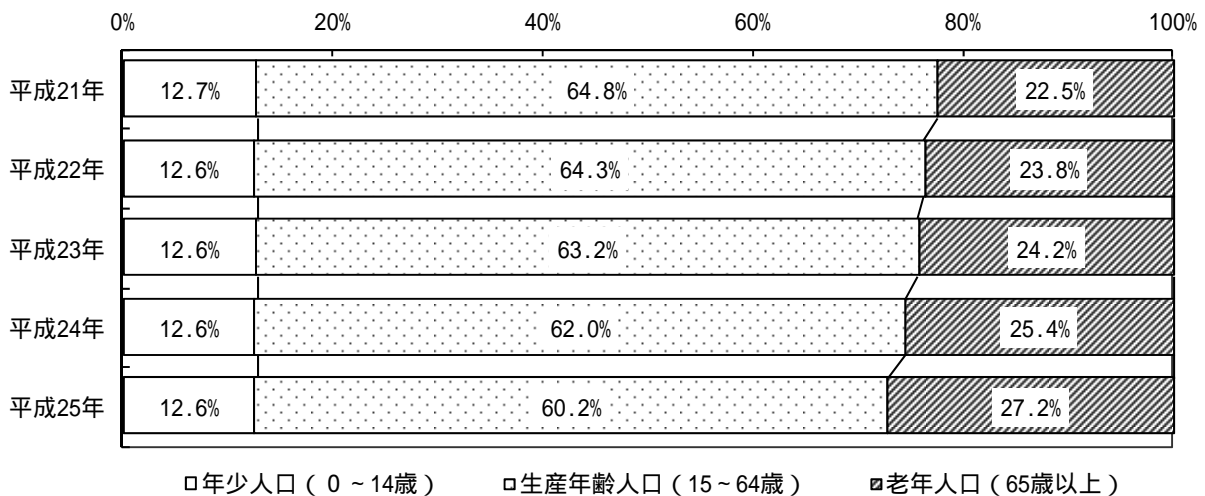
図表 総人口の推移



各年 10月1日現在

資料：国勢調査、京都府推計人口

図表 年齢3区分別の構成比の推移



□年少人口(0～14歳) □生産年齢人口(15～64歳) ■老年人口(65歳以上)

住民基本台帳及び外国人登録による。各年 4月1日現在

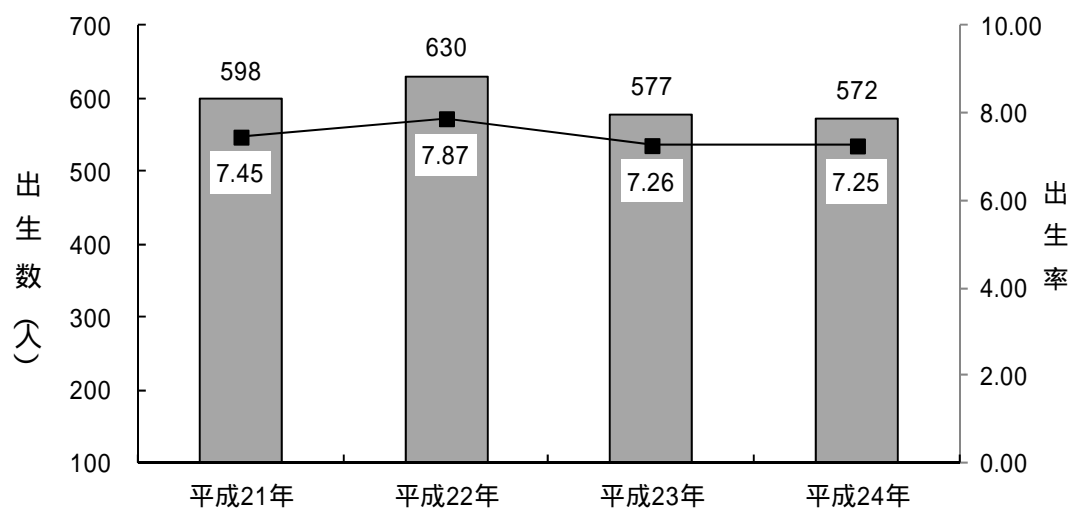
資料：市民課

## (2) 出生の動向

本市の出生数の推移をみると、平成22年には前年の出生数を上回りましたが、平成23年以降再び減少に転じています。

出生率の推移をみると平成21年、平成22年には上昇傾向にありましたが、出生数の減少に伴い平成23年以降低下傾向にあります。

図表 出生数および出生率の推移



出生率は人口千人あたりの出生数を示しています(出生率 = (出生数 ÷ 総人口) × 1,000)

資料：市民課

## 2. 家族や地域の状況

### (1) 世帯の動向

本市の総世帯数は増加を続けており、平成22年には平成2年の25,293世帯から4,679世帯増加し29,972世帯となっています。一方、単身世帯の増加や三世代家族の減少が続いていることもあり、一般世帯における平均世帯人員は年々減少しています。

18歳未満の児童がいる世帯の推移をみると、平成22年には平成2年の12,087世帯から4,900世帯減少し7,187世帯となっています。

図表 世帯数、世帯構成、平均世帯人員の推移

単位：世帯、人

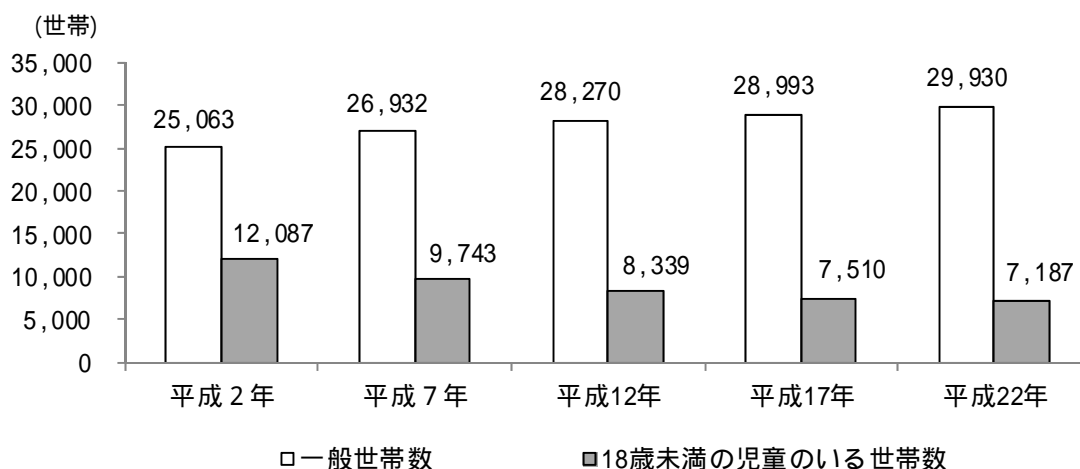
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総世帯	25,293	26,970	28,333	29,051	29,972
一般世帯	25,063	26,932	28,270	28,993	29,930
単身世帯	3,239	4,102	4,652	5,345	6,265
核家族	18,230	19,227	20,315	20,625	20,877
三世代家族	2,716	2,597	2,483	2,171	1,836
その他一般世帯	878	1,006	820	852	952
平均世帯人員	3.32	3.12	2.93	2.76	2.62

総世帯数には施設等の世帯数も含まれます

各年10月1日現在

資料：国勢調査

図表 18歳未満の児童がいる世帯の推移



各年10月1日現在

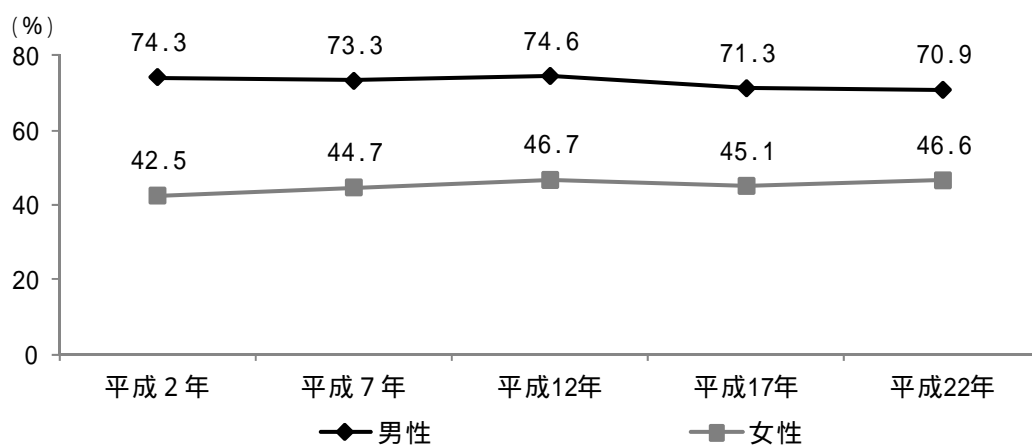
資料：国勢調査

## (2) 就労の動向

本市の男女別の労働力率をみると、男性の労働力率は低下傾向にあり平成 22 年には 70.9%となっています。一方、女性の労働力率は上昇傾向にあり、平成 22 年には平成 2 年の 42.5%から 4.1 ポイント増加し 46.6%となっています。

女性の年齢別の労働力率をみると国、京都府、城陽市ともに同様の就労型を描いています。一方、女性の年齢別労働力率を城陽市内で経年比較すると、女性の年齢別労働力率は年々上昇傾向にあり、M字の谷も浅くなりつつあります。

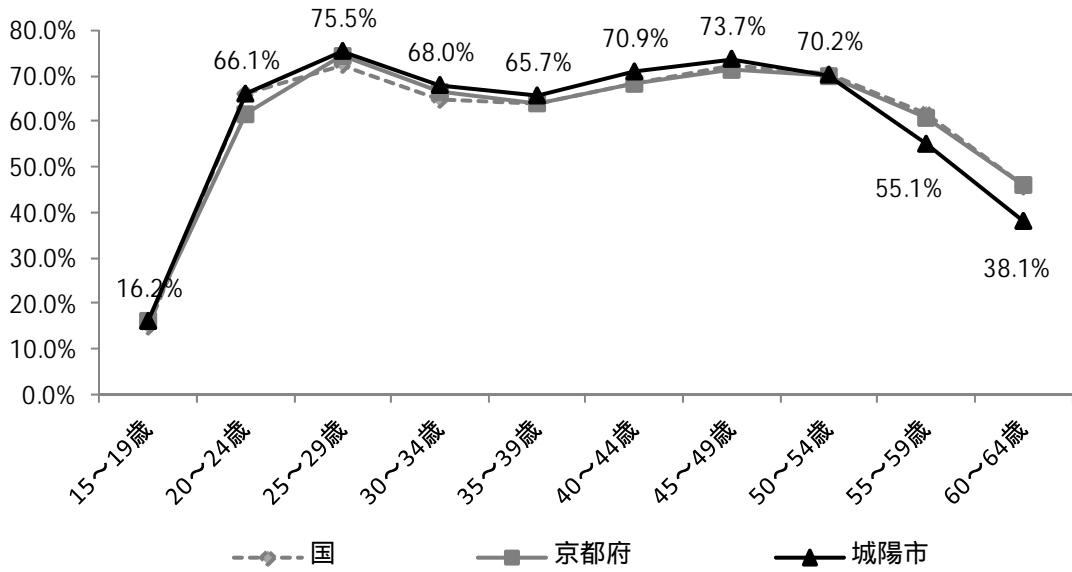
図表 男女別労働力率の推移



労働力率は、15 歳以上人口に占める労働力人口の割合を示しています（労働力率 = (労働力人口 ÷ 15 歳以上人口) × 100）

資料：国勢調査

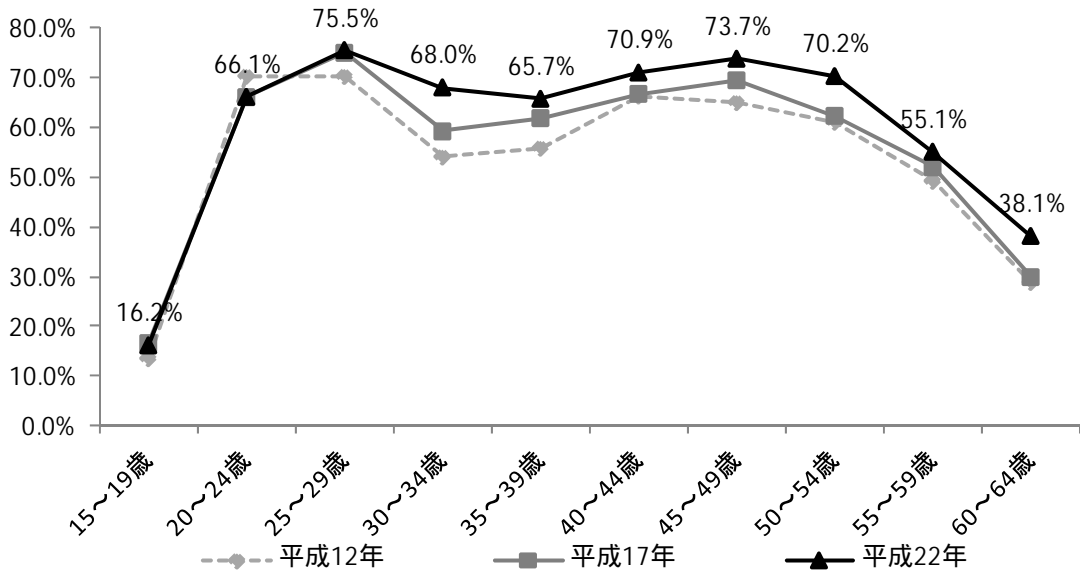
図表 女性の年齢別労働力率（全国、京都府との比較）



労働力率は、15歳以上人口に占める労働力人口の割合を示しています（労働力率 = (労働力人口 ÷ 15歳以上人口) × 100）

資料：国勢調査

図表 女性の年齢別労働力率（城陽市における経年比較）



労働力率は、15歳以上人口に占める労働力人口の割合を示しています（労働力率 = (労働力人口 ÷ 15歳以上人口) × 100）

各年 10月1日現在

資料：国勢調査

### 3. 子育て支援サービスの提供と利用の動向

#### (1) 子育て支援サービスの状況

##### 保育所・幼稚園の状況

本市では、平成25年7月に寺田西保育園、枇杷庄保育園の運営を終え、平成25年8月より今池保育園に統合されました。現在市立保育園が5カ所、私立保育所が5カ所整備されており、平成26年4月1日現在、定員1,365人に対して、1,499人が入園しています。

また、市内の幼稚園については、平成25年5月1日現在、定員1,600人に対して、1,001人が入園しています。

図表 在園児童数の現状

単位：人

区 分	園児数				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
保育園	1,242	1,312	1,302	1,373	1,461
市立	554	594	601	642	641
(新)久津川(平成22年4月～)	-	147	153	158	168
(旧)久津川(～平成22年3月)	86	-	-	-	-
古川(～平成22年3月)	36	-	-	-	-
久世	164	168	173	183	173
鴻の巣	97	100	87	102	105
今池(平成25年8月～)	-	-	-	-	-
寺田西(～平成25年7月)	46	54	56	55	51
枇杷庄(～平成25年7月)	53	53	51	62	67
青谷	72	72	81	82	77
私立	688	718	701	731	820
清仁	150	165	149	175	199
くぬぎ	106	104	116	127	152
清心	205	219	202	188	201
里の西	156	152	162	169	195
しいの木	71	78	72	72	73

区 分	園児数				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
幼稚園	1,183	1,164	1,136	1,075	1,001
市立	80	67	59	46	56
深谷	37	14	-	-	-
富野	43	53	59	46	56
私立	1,103	1,097	1,077	1,029	945
青谷聖家族	170	156	160	142	136
京都文教短期大学附属家政城陽	181	200	179	165	131
佐伯	359	356	356	347	334
白鳥	161	165	176	170	151
平川	120	118	104	96	85
芽生え	112	102	102	109	108

保育園は各年4月1日現在、幼稚園は各年5月1日現在（幼稚園の園児数には、市外からの通園者を含みます）

資料：子育て支援課、学校教務課



図表 在園児童数の年齢別内訳

単位：人

区 分	園児数						
	合 計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
保育園	1,461	86	197	263	314	318	283
市立	641	44	87	110	129	147	124
久津川	168	15	30	29	32	30	32
久世	173	15	22	27	30	40	39
鴻の巣	105	4	9	24	18	27	23
寺田西	51	2	8	4	15	14	8
枇杷庄	67	4	8	14	15	17	9
青谷	77	4	10	12	19	19	13
私立	820	42	110	153	185	171	159
清仁	199	9	19	43	45	43	40
くぬぎ	152	7	23	28	30	34	30
清心	201	12	25	32	48	41	43
里の西	195	10	31	37	46	39	32
しいの木	73	4	12	13	16	14	14
幼稚園	1,001	-	-	-	285	374	342
市立	56	-	-	-	-	35	21
富野	56	-	-	-	-	35	21
私立	945	-	-	-	285	339	321
青谷聖家族	136	-	-	-	43	39	54
京都文教短期大学附属家政城陽	131	-	-	-	42	47	42
佐伯	334	-	-	-	98	127	109
白鳥	151	-	-	-	38	53	60
平川	85	-	-	-	33	33	19
芽生え	108	-	-	-	31	40	37

保育園は平成 25 年 4 月 1 日現在、幼稚園は平成 25 年 5 月 1 日現在

資料：子育て支援課、学校教務課

図表 平成 26 年 4 月 1 日現在の年齢別保育園児数

単位：人

区 分 (定 員)	園児数						
	合 計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
保育園 (1,365 人)	1,499	66	231	247	321	321	313
市立 (620 人)	650	30	107	108	133	128	144
久津川 (150 人)	159	5	31	31	30	32	30
久世 (150 人)	172	8	25	33	33	33	40
鴻の巣 (110 人)	110	8	22	12	26	16	26
今池 (120 人)	127	5	20	16	30	28	28
青谷 (90 人)	82	4	9	16	14	19	20
私立 (745 人)	849	36	124	139	188	193	169
清仁 (195 人)	187	9	22	26	46	42	42
くぬぎ (120 人)	157	5	23	25	35	35	34
清心 (180 人)	211	12	36	30	45	47	41
里の西 (180 人)	220	9	31	44	46	52	38
しいの木 (70 人)	74	1	12	14	16	17	14

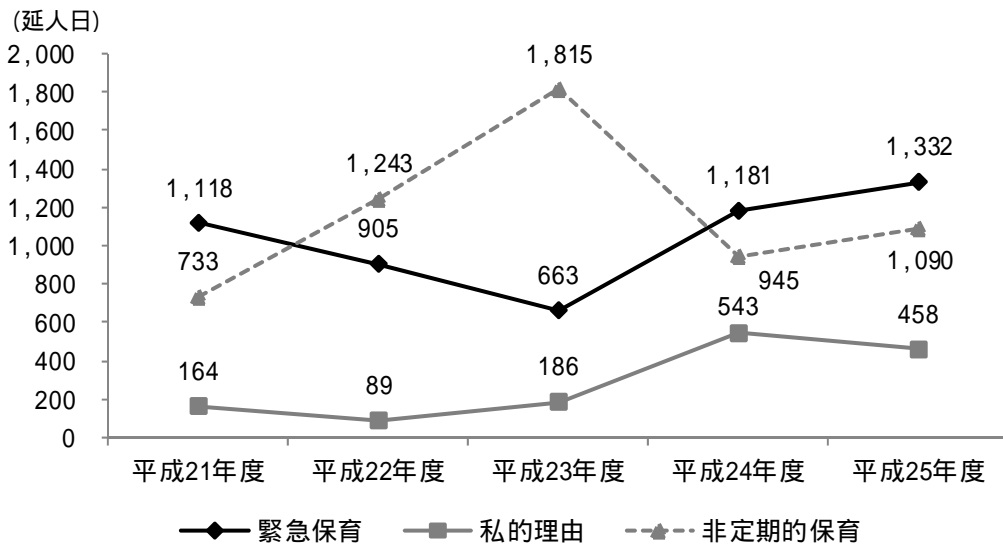
資料：子育て支援課

### 保育サービスの利用の推移

本市では、市内3カ所の保育園において一時保育を実施しています。平成25年度では、緊急保育を理由とする利用が最も多くなっています。なお、私的理由での利用が増加傾向にありましたが平成25年度は減少し、非定期的保育の利用が増加しました。

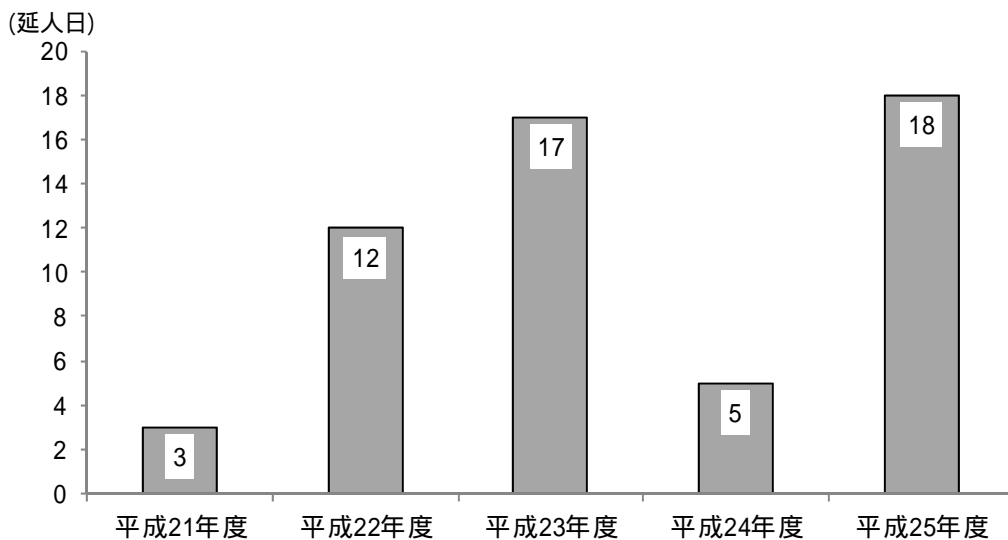
また本市では、京都きづ川病院内の病後児保育センターにおいて病後児保育を実施しています。平成25年度には18件の利用がありました。

図表 一時保育の利用の推移



資料：子育て支援課

図表 病後児保育の利用の推移



資料：子育て支援課

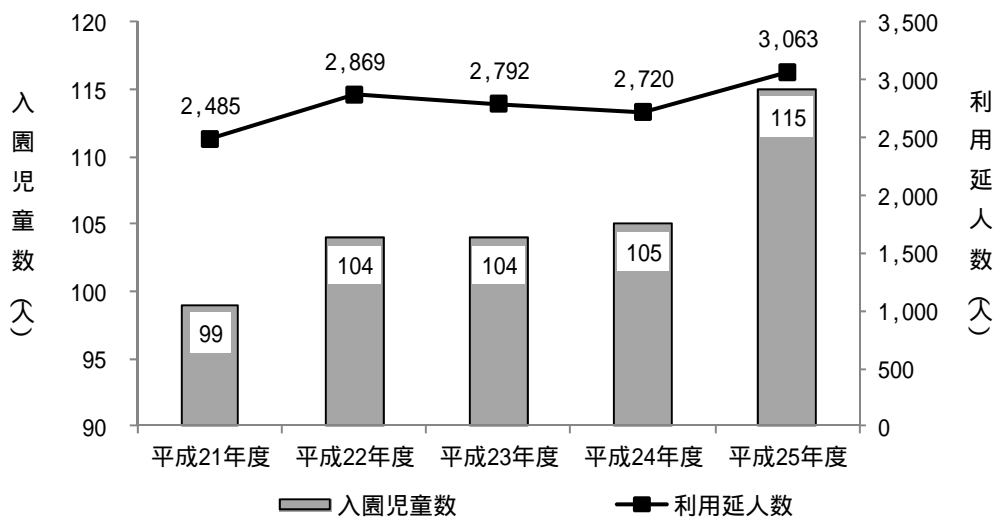
要支援児童・特別支援教育の状況

本市には、障害児通園事業として、ふたば園が整備されているほか、市立・私立の保育所において要支援児童保育を、幼稚園・小学校において特別支援教育を実施し、小学校で特別支援学級を開設しています。

ふたば園の利用の推移をみると平成 25 年度の入園児童数は 115 人、利用延人数は 3,063 人となっています。

平成 25 年度の要支援児童保育利用人数（保育所）は 69 人、特別支援教育（幼稚園）は 6 人、特別支援学級（小学校）は 90 人となっています。

図表 ふたば園の利用の推移



資料：子育て支援課

図表 要支援児童保育、特別支援教育、特別支援学級の児童数の推移

単位：人

項目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
要支援児童保育(保育所)	61	68	64	64	69
特別支援教育(幼稚園)( )	4	6	6	2	6
特別支援学級(小学校)	53	67	74	76	90

私立幼稚園については、各園で実施しているため含みません

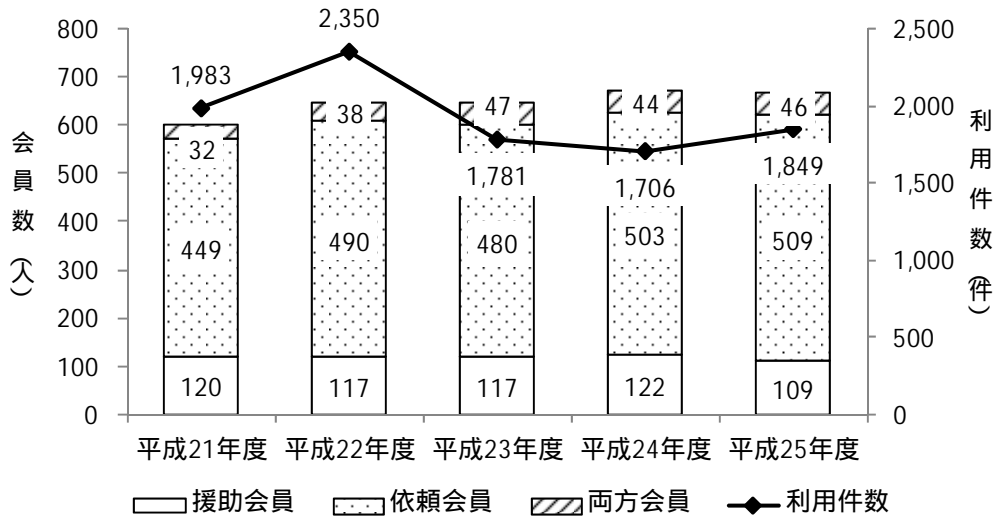
資料：子育て支援課、学校教育課

地域における子育て支援の状況

ファミリー・サポート・センターの利用の推移をみると、依頼会員数（サポートを受けたい方）は増加傾向にありますが、援助会員数（サポート行いたい方）は減少傾向にあります。なお、利用件数は平成 23 年度以降減少傾向にありましたが、平成 25 年度は増加に転じています。

昼間里親の利用人数をみると、平成 25 年度は 117.5 人となっています。

図表 ファミリー・サポート・センターの利用の推移



資料：子育て支援課

図表 昼間里親の利用の推移

単位：人

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延利用児童数( )	122	113.5	120	114	117.5
登録里親数	5	5	5	5	5

毎月 15 日入所の場合は 0.5 人として数えています

資料：子育て支援課

地域子育て支援センターへの相談件数の推移をみると、育児方法についての相談が増加傾向にあります。また家庭児童相談室への相談件数の推移をみると、養護相談が増加傾向にあります。

図表 地域子育て支援センターへの相談件数の推移

単位：件

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
相談件数	750	875	901	1,076	928
基本生活習慣	76	135	138	214	155
発育・発達	169	176	164	193	137
医学的問題	10	20	15	22	9
生活環境	12	9	19	16	14
育児方法	148	174	228	246	250
その他	335	361	337	385	363

資料：子育て支援課

図表 家庭児童相談室への相談件数の推移

単位：件

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
相談件数	1,991	1,398	1,453	1,603	2,165
養護相談（ ）	978	1,020	1,256	1,312	1,978
保健相談	0	0	0	1	0
障害相談	16	8	4	1	1
非行相談	10	6	2	6	2
育成相談	891	322	132	230	142
その他	95	42	59	53	42

養護相談は児童虐待相談を含む

資料：子育て支援課

学童保育の状況

平成 25 年度の学童保育の月平均登録児童数の推移をみると、寺田が 77.2 人と最も多くなっています。

図表 学童保育の月平均登録児童数の推移

単位：人

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
久津川	37.0	46.7	47.7	46.8	58.5
古川	50.6	43.8	40.1	33.5	43.6
久世	68.7	82.5	71.0	65.5	68.9
深谷	52.3	45.3	41.2	35.2	42.1
寺田	99.9	70.3	76.4	77.6	77.2
寺田南	30.6	23.5	24.5	26.1	35.6
寺田西	35.2	32.8	30.3	35.0	43.3
今池	47.9	40.3	45.1	54.1	51.1
富野	62.8	64.0	56.4	49.5	42.3
青谷	58.7	40.5	30.5	32.5	33.6
合計	543.7	489.7	463.2	455.8	496.2

資料：子育て支援課

( 2 ) 母子保健の状況

本市では、妊婦健康診査をはじめ、3カ月、8カ月、1歳8カ月、3歳児健康診査などを実施しています。受診率は上昇傾向にあり、いずれも9割以上で推移しています。

図表 健康診査の受診状況の推移

単位：人、%

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
妊婦健康診査受診票発行者数	693	670	636	570	591
3 か月児健康診査					
受診児数	605	609	567	576	494
受診率	97.9	98.1	99.6	98.5	97.4
8 か月児健康診査					
受診児数	575	601	616	559	532
受診率	95.0	96.8	97.6	98.9	97.8
1 歳 8 か月児健康診査					
一般					
受診児数	584	583	608	586	568
受診率	93.4	95.3	95.9	97.9	97.9
歯科					
受診児数	584	583	608	586	568
受診率	93.4	95.3	95.9	97.9	97.9
3 歳児健康診査					
一般					
受診児数	620	569	652	573	631
受診率	93.5	96.9	94.2	96.0	95.5
歯科					
受診児数	619	569	652	573	631
受診率	93.5	96.9	94.2	96.0	95.5

資料：健康推進課



図表 家庭訪問指導の状況の推移

単位：人

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
乳幼児訪問指導	166	223	229	240	289
妊産婦訪問指導	165	183	169	194	207
新生児訪問指導（ ）	163	177	165	178	204

平成 25 年度は未熟児訪問 31 件を含んでいます

資料：健康推進課

図表 母子健康手帳の発行件数の推移

単位：冊

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
発行数	644	630	610	545	555

資料：健康推進課

図表 教室、講座等の受講者数の推移

単位：回、人

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
乳幼児相談					
実施回数	30	30	30	30	30
受講者数	1036	1054	1065	1038	939
妊婦教室					
実施回数	19	19	19	18	18
受講者数	204	246	220	136	184
母子健康教室					
実施回数	111	112	109	99	93
受講者数	2848	2886	2998	2767	2808
離乳食教室					
実施回数	24	24	24	24	24
受講者数	605	609	567	576	494

資料：健康推進課